筑西市議会経済土木委員会

会　議　録

（令和６年第３回定例会）

筑　西　市　議　会

経済土木委員会　会議録

1　日時

令和６年９月１９日（水）　　開会：午前９時５８分　　閉会：午前１１時１９分

2　場所

全員協議会室

3　審査案件

議案第７８号　工事請負契約の締結について

議案第７９号　市道路線の廃止について

議案第８０号　市道路線の認定について

議案第８２号　筑西市駐車場条例の一部改正について

議案第８６号　令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号）のうち所管の補正予算

議案第９０号　令和５年度筑西市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案第９１号　令和５年度筑西市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案第９２号　令和５年度筑西市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案第９３号　土地の取得について

4　出席委員

委員長	三澤　隆一君	副委員長	森　正雄君				
委員	塚田　砂与君	委員	吉富　泰宣君	委員	田中　隆徳君		
委員	増渕　愼治君	委員	堀江　健一君	委員	秋山　恵一君		

5　欠席委員

なし

6　議会事務局職員出席者

書記　宮川　尚訓君

委員長 三澤 隆一

開　　会　午前　９時５８分

○委員長（三澤隆一君）　それでは、ただいまから経済土木委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員は８名であります。よって、委員会は成立しております。

それでは、本委員会に付託されました議案について審査してまいります。

なお、議案審査の順序ですが、お手元に配付いたしました順番で、契約議案１案、市道路線議案２案、条例議案２案、補正予算議案１案について、企業会計未処分利益剰余金処分議案３案及び土地取得議案１案について所管部ごとに審査を願いたいと存じますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　また、筑西市議会基本条例第19条の申合せ事項により、議員間討議を当分の間、試行的に委員会の会議において行うこととされておりますので､討議を希望される場合は挙手を願います。

それでは、各議案について所管部ごとに審査をしてまいります。

初めに経済部です。議案第86号「令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号)」のうち、所管の補正予算について審査を願います。

なお、議案第86号については複数の部にまたがるため、全ての部の審査の終了後、討論、採決をしたいと存じます。

それでは、商工観光課から説明を願います。

古宇田商工観光課長、お願いいたします。

○商工観光課長（古宇田将人君）　商工観光課の古宇田でございます。よろしくお願いいたします。

「令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号)」のうち、経済部商工観光課所管の補正予算についてご説明いたします。

13ページ下段から14ページ上段を御覧願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、３、歳出でございます。款７商工費、項１商工費、目２商工振興費、節18負担金補助及び交付金、説明欄、商業活性化補助事業、18、負担金補助及び交付金、市商業地域空き店舗等活用事業補助金といたしまして156万8,000円の増額補正をお願いするものでございます。こちらは、筑西市の商業の振興及び活性化に向けた空き店舗等減少によるにぎわいの創出及び商環境の向上を図るため、空き店舗等に新規出店する方に改装費または賃借料の一部を補助するものでございます。

当初予算では、ここ数年の実績から推計しまして450万円を見込んでおりましたが、今年度は予想を上回り、４月から８月までで既に４件の新規申請があり、今後、申請見込みの相談も数件受けております。以上から、今後不足すると思われる額の増額をお願いするものでございます。

商工観光課所管の説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

増渕委員。

○委員（増渕愼治君）　空き店舗のこの事業も長くやっているのですけれども、今年度は非常に、今のところ、そういうことで補正ということ。差し支えなければ業種、今年度の業種と、これから数件、何かあるようでありますけれども、業種を教えていただきたいと思います。

○委員長（三澤隆一君）　古宇田商工観光課長、お願いします。

○商工観光課長（古宇田将人君）　お答えいたします。

令和６年度既に交付決定させていただいているものは、飲食が３件、整体、マッサージが２件、スポーツジムが２件、美容関係が２件、小売が１件、フォトスタジオが１件で、計11件でございます。現在、相談のほうに来ていますのが、小売で２件、サービス業で１件、飲食で１件、やはりスポーツジムで１件でございます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　増渕委員。

○委員（増渕愼治君）　非常にバラエティーなのですけれども、新規出店で何か最近の傾向なんかがあれば教えていただきたい。

○委員長（三澤隆一君）　古宇田商工観光課長。

○商工観光課長（古宇田将人君）　飲食業などの出店が多くなれば、我々としては個人的にはうれしいのですけれども、最近の傾向としましては、美容院、美容室とスポーツジムなどが多いように見受けられます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　今の傾向、増渕委員のお話があったのですが、特にそういったスポーツジムとか、美容院とか、いわゆる飲食以外の部分でいくと、どういったものにこの補助金は使われる傾向が強いのかという部分は、お分かりになられる範囲で教えていただいてよろしいでしょうか。

店舗の改装が多いですよとか、あるいは美容院だったら設備投資でパーマの機械を買う傾向だとか、そういった部分で教えていただければと思うのですが。

○委員長（三澤隆一君）　古宇田商工観光課長。

○商工観光課長（古宇田将人君）　お答えいたします。

現在の交付決定しております11件の中身を見ますと、そのうち２件が店舗の改装費でございます。その他の９件につきましては家賃補助ということで使っていただいております。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　分かりました。以上です。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

堀江委員。

○委員（堀江健一君）　改装の限度額というのはいろいろあると思うのですけれども、限度額を教えてください。

○委員長（三澤隆一君）　古宇田商工観光課長。

○商工観光課長（古宇田将人君）　この事業は、賃借料の補助、または改装費の補助でございまして、賃借料につきましては月５万円の12か月まで、改装費につきましては50万円を上限に２分の１ということでやらせていただいております。

○委員長（三澤隆一君）　堀江委員、よろしいですか。

○委員（堀江健一君）　分かりました。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を終結いたします。ありがとうございました。

次に、ふるさと整備課から説明を願います。

菊地ふるさと整備課長。

○ふるさと整備課長（菊地雄一君）　「令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号)」のうち、経済部ふるさと整備課所管の補正予算についてご説明いたします。

10ページを御覧願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、２、歳入でございます。款21諸収入、項６目６雑入、節８雑入（農林)、説明欄26、多面的機能支払事業交付金返還金といたしまして10万3,000円の増額補正をお願いするものでございます。

この多面的機能支払事業交付金につきましては、農地、農道、水路保全、防災、減災や自然環境の保全、また良好な景観形成などの農業環境が持つ多面的機能の維持活動を支援するために活動組織に交付してございます。令和５年度末に４活動組織におきまして、活動範囲内の一部の土地が農地転用により農地でなくなったために交付対象から除くことから､減少面積分の交付金を国及び県に返還する必要が生じました。そのため、活動組織からの返還金のうち市負担分25％を除きまして、国50％、県25％、合わせました75％を県に返還するものでございます。

ふるさと整備課所管の説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　この返還金というのは、令和５年度は10万円ぐらいを返還されるということなのですが、今後というか、令和４年度、３年度もそういった傾向で続いてきて、令和６年度、７年度もそういう傾向というのは続く予想されているのかどうかについてはいかがお考えなのか、お伺いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　菊地ふるさと整備課長、お願いいたします。

○ふるさと整備課長（菊地雄一君）　お答えいたします。

この返還金につきましては、活動組織内の各個人のお宅で、事情がありまして農地を転用して農地以外のものに変えたとか、そういった場合に返還金が生じるものでございまして、今後、そういうことがあれば、また返還という形も出てくると思うのですが、令和６年度以降につきましては、随時、そういった調査もこれからやっていくことになりますけれども、今のところはまだちょっと傾向というのは、はっきりは分からない部分はございます。

令和４年度分には返還はございませんでした。令和３年度は、今回よりはコロナの関係で活動できなかった部分とかもありまして、その時期には面積的、金額的にも大きいということがございました。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　分かりました。以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　森委員。

○委員（森　正雄君）　活動組織はどのくらい今あるのですか。

○委員長（三澤隆一君）　菊地ふるさと整備課長。

○ふるさと整備課長（菊地雄一君）　24組織です。

○委員長（三澤隆一君）　森委員。

○委員（森　正雄君）　非常にこれ地域のコミュニティーづくりとか、あるいは地域の、今説明ありましたように景観、あるいは堀の清掃とか、場合によっては道路の補修費なんかも出ますよね。あるいは機械、そういったものも多様に使える、使い勝手のいい交付金だと思いますけれども、どうなのですか、そういう希望する団体というのは、見通しというか、24団体、今交付されていると言いましたけれども、あるのですか、これから。

○委員長（三澤隆一君）　菊地ふるさと整備課長。

○ふるさと整備課長（菊地雄一君）　お答えいたします。

新規申請という面で言いますと、今のところは申請が上がってきているような団体はございません。ただ、希望としまして、やりたいのだけれどもということで、ちょっと様子を見ているという部分もございます。

○委員長（三澤隆一君）　森委員。

○委員（森　正雄君）　ありがとうございます。

そういった希望ある団体には、その事業のよさというか、利点、よく説明をして推進していただければなというふうな思いでいます。

以上です。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を終結いたします。ありがとうございました。

以上で経済部の審査を終了いたします。

執行部の入替えをお願いします。お疲れさまでした。

〔経済部退室。建設部入室〕

○委員長（三澤隆一君）　それでは、次に建設部の審査に入ります。

議案第78号「工事請負契約の締結について」、審査を願います。

道路建設課から説明を願います。

なお、執行部から提出のありました資料をタブレット端末に格納しております。御覧ください。

鈴木道路建設課長、お願いいたします。

○道路建設課長（鈴木政光君）　道路建設課の鈴木と申します。よろしくお願いします。着座にて失礼します。

私から議案第78号の件について、続いて現時点の全体工程についてご説明申し上げます。まず、議案第78号「工事請負契約の締結について」、ご説明いたします。

令和６年７月22日付で条件付き一般競争入札に付したＲ６国補社総交第２号玉戸・一本松線渡河橋下部工事及び地盤改良工事について、下記により契約を締結するため、筑西市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第２条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

記といたしまして、１、契約の目的、Ｒ６国補社総交第２号玉戸・一本松線渡河橋下部工事及び地盤改良工事。

２、契約金額、２億5,300万円。

３、契約の相手方、川田・ヤマイチ特定建設工事共同企業体、代表構成員、筑西市西方1705番地の４、

株式会社川田建材工業、代表取締役、川田秀樹、構成員、筑西市乙227番地の29、株式会社ヤマイチ、代表取締役、林千明でございます。

玉戸・一本松線の施工に際して、大谷川を渡る渡河橋の橋脚工事と擁壁区間の地盤改良工事を施工するものでございます。

ページを返していただきまして、参考資料、玉戸・一本松線渡河橋下部工事及び地盤改良工事、工事概要を御覧ください。工事概要の主な部分をご説明いたします。工事名、契約金額につきましては、ただいまご説明したとおりでございます。

工事期間は、本契約の効力を生ずる日の翌日から令和７年３月25日までの約６か月間を予定しております。なお、工事の請負契約につきましては、８月19日開札、８月21日に仮契約を締結しているところでございます。

工事内容でございますが、下の完成イメージ図で表記している箇所でご説明いたします。初めに、大谷川を渡る渡河橋の橋脚を１基施工いたします。次に、擁壁区間の地盤改良工事につきましては、関東鉄道常総線を越え、国道50号バイパス側に28メートル、大谷川の手前、県道筑西・三和線側に75メートル、合計延長103メートルとなります。

続きまして、玉戸・一本松線整備事業の現時点の全体工程について申し上げます。玉戸・一本松線整備事業につきましては最重要課題と認識しております。この件につきましては、早期完了を念頭に置いてございますが、建設部道路建設課といたしましては、昨年、全員協議会にて説明させていただいた令和15年度完了に向けて進めておりますが、計画よりも、さらに一日でも早く供用開始ができるよう、その都度、見直しているところでございます。

資料に基づき説明いたしますと、下段青色が昨年度、全員協議会にてお示しいたしました工程、上段赤色が見直しさせていただきました現段階の工程となり、令和15年途中での完成を目指します。

そこで、今回、２点の工程について見直しいたしました。まず１つ目、跨線橋につきましては、仮桟橋、仮設道路設置後、国道50号側で１か所、三和線側で２か所、合計３か所の搬入路を確保することで、工期を７か年から５か年の計画に短縮することができました。

続いて、大谷川を渡る渡河橋の工事につきましても、関係機関との協議の結果、新たに護岸工事が追加されましたが、仮桟橋、仮設道路を利用し、協議を重ねた結果、令和８年度から施工開始予定でありましたが、前倒しして令和６年度より施工することが可能となりました。

今後も各工事とも適正な工期設定を念頭に置きながら、このように各工事の工程を確認し、その都度、効率的な工事施工を実施していくことで、一日でも早く早期完了、供用開始に向けて進めていきたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

田中委員。

○委員（田中隆徳君）　まず最初に確認なのですが、取りあえず、今回、渡河橋のほうの橋脚ということなのですが、ちょっと確認なのですが、跨線橋のほうの上部は多分鉄道会社、関東鉄道ですか、にお任せするということだと思うのですが、橋脚の部分は我が市でやるという認識でよろしいですか、これは。

（「跨線橋のほうですか。渡河橋のほう」と呼ぶ者あり）

○委員（田中隆徳君）　（続）渡河橋のほうです。

○委員長（三澤隆一君）　鈴木道路建設課長。

○道路建設課長（鈴木政光君）　渡河橋のほうにつきましては、全て筑西市のほうで施行となります。

○委員長（三澤隆一君）　田中委員。

○委員（田中隆徳君）　分かりました。

それで、私、これ議案には賛成の立場から質疑させてもらうのですが、課長、一日も早い開通ということで随分張り切っておりましたが、ただ、今回渡河橋が入りますよね。それで、一番懸念しているのは、早期開通はみんなも望むところです。ただ、議案質疑にも出ていましたが、あまりにもそういう地域の声、議会の声に押されて、そういうプレッシャーが現場サイドに伝わって、緊張感を持つようなことであってはならないと思うのです。

なぜかというと、やっぱり現場は自然との闘いですから、これは今大災害、本当に河川が一気に増水するような大災害があります。10年という期間、何があるか分からない。それをあまりにも、今出されましたけれども、10年も先の実施工程の工程表、このけつを気にするあまり、現場の安全管理がお粗末になっては本末転倒だと思うのです。これから渡河橋と跨線橋があります。まさに高所作業ですから。そういった部分で、災害ばかりではなくて、夏なんかは本当に立ちくらみが起きるような熱波です。そういうところで、あまりにも工期、工期、工期とやっていると、本当に現場サイドでそれが人身事故、ましてや労働災害、死亡事故になったら大変なことになります、これ本当に。現場は全部ストップ。全部来ますから、そういう責任が。その辺をよくよくかみしめて発言してもらわないと、あまりにも工期、工期、工期とやっていると、そういうことになったら本当に本末転倒ですから、その辺だけは気をつけて、粛々と進めていただければいいのではないかと思います。一言ちょっと。

○委員長（三澤隆一君）　鈴木道路建設課長。

○道路建設課長（鈴木政光君）　ありがとうございます。

私どものほうも、やはり工事施工者に支えてもらっている部分がございます。我々では仕事ができません。ですので、まず職員のメンタルももちろんそうなのですけれども、工事施工者の方々に過度な緊張感とか、そういった負担を与えないように進めていきたいとは考えております。

○委員長（三澤隆一君）　部長は大丈夫ですか。

青木建設部長。

○建設部長（青木　徹君）　申し訳ございませんです。確かに田中委員の言うとおり、急ぐことによって現場が切迫して事故になるということは、私、土木、長いのですけれども、やっぱりあります。急がせるあまりに擁壁を怠った。この間も新聞に出ていたように、茨城県内で擁壁をしたのですけれども、土崩れが起きて、中で死亡事故が起きたというような事故もございますので、その点はよく注意して、工期にとらわれずに現場サイドと相談しながら。働き方改革、あとは週休２日制なども今後導入していきますので、その辺はちゃんと企業と検討しながら工事を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　田中委員。

○委員（田中隆徳君）　安全第一でよろしくお願いします。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

森委員。

○委員（森　正雄君）　今、田中委員の話を伺っていて、ちょっと思いついたものですから。責任という考え方です。この川田・ヤマイチ特定建設工事共同企業体、これ出資比率はどのくらいの出資比率になっているのですか、２社の。

○委員長（三澤隆一君）　鈴木道路建設課長。

○道路建設課長（鈴木政光君）　７対３となっております。

○委員長（三澤隆一君）　森委員。

○委員（森　正雄君）　どちらが７。

○委員長（三澤隆一君）　鈴木道路建設課長。

○道路建設課長（鈴木政光君）　川田建材工業のほうが７です。

○委員長（三澤隆一君）　森委員。

○委員（森　正雄君）　分かりました。

それで、私も、こういうふうな形になってきたのだろうなと思っているのです。私らがやっている頃は、こういうふうに、例えば渡河橋下部工事あるいは地盤改良工事、こういう１つの別個事業です、ある意味。こういうパッケージにして１つの工事として発注しているということであります。これはやっぱり考え方は、社会資本総合整備事業の考え方なのですか。

○委員長（三澤隆一君）　鈴木道路建設課長。

○道路建設課長（鈴木政光君）　こちらにつきましては、現場を考えて今回工程を組ませていただきました。一応橋脚工事と地盤改良工事を一気にやることによって、作業ヤードのスペースも確保できるし、業者のほうも一度、渡河橋とか、近い部分で地盤改良やっていますと、その部分の地質とか知ることができるのです。合わせたことによって、約１か月ぐらい工程が短くなっておりますので、違う業者で入るよりは、同じ業者のほうで施工していたほうが、近隣の近接工事でありますので、いいかと思って、同時で出させていただきました。

○委員長（三澤隆一君）　森委員。

○委員（森　正雄君）　分かりました。

多分、課長のほうから回答ありましたけれども、そういう考え方なのでしょうけれども、きっと発注形態が変わったというような考え方だと思います。前の頃は、昔は、こういう発注の仕方はしなかったと思います。

そこで伺いたいのですけれども、この２億5,300万円、契約額、これ予算のときに説明いただいたかもしれないのですけれども、これの、いわゆる国費率と、当然これ交付金ですから、交付税措置なんかもあるのかな、充当率とか、そういうもろもろの資金計画、その辺をちょっと教えてください。

○委員長（三澤隆一君）　鈴木道路建設課長。

○道路建設課長（鈴木政光君）　国費につきましては、社会資本整備総合交付金で約１億3,325万円、合併特例債で１億2,650万円、一般財源として676万円、合計で約２億6,600万円でございます。

○委員長（三澤隆一君）　よろしいですか。

○委員（森　正雄君）　分かりました。ありがとうございました。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

議案第78号について討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第78号について採決をいたします。

議案第78号「工事請負契約の締結について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決されました。

次に、議案第79号「市道路線の廃止について」、審査を願います。

道路維持課から説明を願います。

なお、これも執行部のほうから提出のありました資料がタブレットに格納しておりますので、御覧ください。

水越道路維持課長、お願いします。

○道路維持課長（水越正則君）　道路維持課の水越です。よろしくお願いします。着座にて失礼します。

議案第79号「市道路線の廃止について」、ご説明申し上げます。

２ページを御覧ください。調書番号１番及び２番の下館地区２路線、調書番号３番から８番の明野地区６路線、調書番号９番及び10番の協和地区２路線の廃止でございます。廃止の延長は10路線、合わせて4,202.95メートルでございます。

調書番号１番の路線につきましては、中館高架橋設置により廃止するべきであった市道を廃止するものでございます。

調書番号２番の路線につきましては、市有地の一部が市道認定されており、市道廃止申請が提出され、廃止するものでございます。

調書番号３番から７番の路線につきましては、県道筑西つくば線でのバイパス事業の換地により廃止するものでございます。

調書番号８番の路線につきましては、松原地区土地改良事業の換地により廃止するものでございます。

調書番号９番の路線につきましては、用途廃止申請が提出され、廃止するものでございます。

調書番号10番の路線につきましては、小貝川にありました旧加草橋の廃止に伴い廃止するべきであった市道を廃止するものでございます。

各路線の起点、終点及び延長につきましては記載のとおりでございます。

参考資料といたしまして、市道廃止路線位置図及び市道廃止路線全体図を次のページから添付させていただいております。また、経済土木委員会用に、さらに詳細な資料を配付させていただいておりますので、併せて御覧いただきますようお願い申し上げます。

廃止については以上でございます。よろしくお願いします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　調書番号10番で、市道として廃止すべき市道だというふうに、廃止すべきというのはどういう観点で廃止すべきだとなったのかだけ教えていただいてもよろしいでしょうか。

○委員長（三澤隆一君）　水越道路維持課長。

○道路維持課長（水越正則君）　旧の加草橋があったところ、今は通行止めになっているのですけれども、加草橋に行くために堤を上がる一部のところを市道認定、以前入っていたのですけれども、そこのところがもう必要なくなっていますので、廃止するものでございます。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　分かりました。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を終結いたします。

討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第79号の採決をいたします。

議案第79号「市道路線の廃止について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決されました。

次に、議案第80号「市道路線の認定について」、審査を願います。

引き続き、道路維持課から説明を願います。

水越道路維持課長。

○道路維持課長（水越正則君）　議案第80号「市道路線の認定について」、ご説明申し上げます。

２ページを御覧ください。調書番号１番及び２番の下館地区２路線、調書番号３番から６番の明野地区４路線の認定でございます。認定の延長は、６路線合わせて3,738.64メートルでございます。

調書番号１番から６番の路線につきまして、廃止した路線の一部を市道として再認定するものでございます。各路線の起点、終点及び延長につきましては、記載のとおりでございます。

参考資料といたしまして、市道認定路線位置図及び市道認定路線全体図を次のページから添付させていただいております。

説明は以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第80号の採決をいたします。

議案第80号「市道路線の認定について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決されました。

次に、議案第86号「令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号)」のうち、所管の補正予算について審査を願います。

道路建設課から説明を願います。

鈴木道路建設課長、お願いします。

○道路建設課長（鈴木政光君）　道路建設課の鈴木と申します。着座にて説明させていただきます。

議案第86号「令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号)」のうち、建設部道路建設課所管の補正予算についてご説明申し上げます。

初めに、４ページをお開き願います。第２表、継続費でございます。款８土木費、項２道路橋梁費、事業名、玉戸・一本松線整備事業（跨線橋工事負担金)、総額15億7,300万円、令和６年度年割額１億1,190万円、令和７年度年割額２億6,110万円、令和８年度年割額1,000万円、令和９年度年割額３億5,700万円、令和10年度年割額８億3,300万円の継続費をお願いするものでございます。

理由といたしましては、今回の補正予算に計上しております玉戸・一本松線整備事業の関東鉄道常総線をまたぐ跨線橋につきましては、橋梁下部工事及び上部工を関東鉄道株式会社に委託し、工期が連続して５年間を要することから継続費とするものでございます。

続きまして、６ページをお開き願います。第４表、地方債補正、変更でございます。地方債の借入限度額の変更をお願いするものでございます。起債の目的といたしましては、玉戸一本松線整備事業の補正前、限度額５億1,520万円から、補正後、限度額６億1,010万円に増額をお願いするものでございます。これは、玉戸・一本松線整備事業の令和６年度対象事業費に係る地方債の増額をお願いするものでございます。

続きまして、10ページをお開き願います。歳入歳出補正予算事項別明細書の２、歳入でございます。款22項１市債、目８土木債、節２道路橋梁費、説明欄13、玉戸一本松線整備事業債9,490万円の増額補正をお願いするものでございます。これは、玉戸・一本松線整備事業の事業費に係ります地方債でございます。

続きまして、14ページをお開き願います。歳入歳出補正予算事項別明細書の３．歳出でございます。款８土木費、項２道路橋梁費、目３道路新設改良費、節18負担金補助及び交付金、説明欄、玉戸・一本松線整備事業１億1,190万円の増額補正をお願いするものでございます。これは、先ほどご説明いたしました玉戸・一本松線整備事業の跨線橋の施工に際し、関東鉄道株式会社へ委託する橋梁下部工について増額補正をお願いするものでございます。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

次に、道路維持課から説明を願います。

水越道路維持課長、お願いします。

○道路維持課長（水越正則君）　着座にて失礼します。

一般会計補正予算（第３号）のうち、建設部道路維持課所管の補正予算についてご説明申し上げます。

初めに、14ページを御覧ください。歳入歳出補正予算事項別明細書の３、歳出でございます。款８土木費、項２道路橋梁費、目１道路橋梁総務費、節10需用費、説明欄の道路橋梁維持管理経費に730万円の増額補正をお願いするものでございます。これは、道路照明灯ポール５基の修繕及び下館駅北口ベンチ２台の

修繕、転落防止柵１か所の修繕を実施するため、増額補正をお願いするものでございます。

続きまして、その下、目２道路維持費、説明欄、道路維持補修事業に３億1,000万円の増額補正をお願いするものでございます。これは、市民からの要望や職員の現場パトロールで発見した損傷箇所につきましては、生活道路及び排水路等の維持補修、修繕を順次行っているところではございますが、より安全で快適な道路を維持するため増額補正をお願いするものでございます。

内訳といたしまして、節14工事請負費２億1,300万円のうち、大規模な生活道路の舗装、側溝等の新設などの補修を行う道路維持補修工事費に１億6,300万円、道路の陥没など部分的な修繕を行う道路修繕工事費に5,000万円となっております。

また、節15原材料費9,700万円につきましては、道路及び側溝の補修工事に必要なアスファルト合材や砕石、側溝等の材料費で、あらかじめ購入して、工事の際、現場に支給することにより、工期の短縮と工事費の削減を図るためのものでございます。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

田中委員。

○委員（田中隆徳君）　お尋ねします。

大体この補正で、今上がっている部分といいますか、要望的なものは全て大体賄えるような予算になるのでしょうか。その辺、ちょっとお伺いします。

○委員長（三澤隆一君）　水越道路維持課長。

○道路維持課長（水越正則君）　工事箇所としましては、残り177か所、今のところ最低限のところなのですけれども、予定しております。そこにつきましては賄えるというところで組んでおります。

○委員長（三澤隆一君）　田中委員。

○委員（田中隆徳君）　まだ下半期、要望がまだこれからあると思います。私はやっぱり、結構処分事件報告で出ていますよね、タイヤがへこんだ、タイヤがバーストしたと。やっぱりまだまだ地域格差といいますか、駄目なところは駄目なところがあるので、そこは忌憚なく、私はやはりできる限りの要望をやっていただけますように、それにくっつけてよろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　答弁は結構ですか。

○委員（田中隆徳君）　以上です。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

以上で、建設部の審査を終了いたします。お疲れさまでした。

それでは、執行部の入替えをお願いいたします。

〔建設部退室。都市整備部入室〕

○委員長（三澤隆一君）　次に、都市整備部の審査に入ります。よろしくお願いします。

議案第82号「筑西市駐車場条例の一部改正について」、審査を願います。

それでは、都市整備課からお願いいたします。

こちらもタブレットのほうに資料が格納されております。よろしくお願いいたします。

根本都市計画課長、お願いいたします。

○都市計画課長（根本嘉之君）　都市計画課の根本です。どうぞよろしくお願いいたします。着座にてご説明いたします。

それでは、議案第82号「筑西市駐車場条例の一部改正について」、ご説明いたします。

筑西市では、下館駅前駐車場、下館駅東駐車場、下館駅前広場駐車場及び新治駅前駐車場を管理運営しております。うち下館駅東駐車場につきましては、用地を借地して運営してございます。令和５年度に市役所下館庁舎跡地が駐車場になったことに伴い、市内関係課と協議を行いました。その結果、下館駅前の駐車場需要につきましては、下館駅東駐車場を使用しなくても対応が可能であるということから、令和６年度に下館駅東駐車場を閉鎖するため、筑西市駐車場条例の一部を改正するものでございます。

内容につきましてご説明いたします。第２条の駐車場の設置、第５条の駐車できる自動車、第８条の回数券及び定期券、２ページへ参りまして、第12条の駐車料金の免除から、下館駅東駐車場の記載を削るものでございます。

また、第10条の駐車料金の徴収につきましては、回数券及び定期券による駐車料金は、これを発行するときに徴収するとなっておりましたが、定期券につきましては、現在の運用に合わせ、利用する月の前月の末日までに徴収する記載に変更するものでございます。

附則といたしまして、この条例は令和７年４月１日から施行するものでございます。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　１点だけ。この条例を改正しましたよと。そうすると、東の駐車場とか、いろいろあるのでしょうけれども、その結果、効果についてはどういう見込みをされているのか、お伺いしたいと思います。どういう効果が生まれますか。

○委員長（三澤隆一君）　根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君）　効果といたしましては、駐車場を借地しておりましたので、その料金、駐車場借地料をその分、払わなくて済むというふうな財政上の効果があると思います。

以上です。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　ざっくりどのくらいの効果額と見込めばよろしいでしょうか。

○委員長（三澤隆一君）　根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君）　申し上げます。年額993万5,304円です。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　分かりました。以上です。

○委員長（三澤隆一君）　田中委員。

○委員（田中隆徳君）　１点お聞きします。

これは可決されました、取りあえず返還しますと。その後のイメージなのですが、あれはどういうふうにするのですか。今ゲートついていますよね。今後も民間として、その地主があのゲートを使って平面駐車場として使うのか。それとも、一旦原状回復で全部舗装までまくって、全部あのゲートも取り外してき

れいにしてしまうのか。そのイメージだけ、ちょっと教えてください。

○委員長（三澤隆一君）　根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君）　原状回復というふうなことで、一旦更地というふうなことでございます。

○委員長（三澤隆一君）　田中委員。

○委員（田中隆徳君）　そうしますと、ゲートも外して、もう駐車場としては機能しないような形になるということでよろしいですか。

○委員長（三澤隆一君）　根本都市計画課長。

○都市計画課長（根本嘉之君）　今のところ、何もする予定はございません。

○委員長（三澤隆一君）　いいですか。

○委員（田中隆徳君）　了解しました。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第82号の採決をいたします。

議案第82号「筑西市駐車場条例の一部改正について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決されました。

次に、議案第86号「令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号)」のうち、所管の補正予算について審査を願います。

引き続き、根本都市計画課長、お願いします。

○都市計画課長（根本嘉之君）　議案第86号「令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号)」のうち、都市計画課所管の補正予算についてご説明いたします。

15ページをお開き願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、３、歳出でございます。款８土木費、項４都市計画費、目１都市計画総務費、説明欄、駐車場維持管理事業、工事請負費として駅東駐車場解体工事費2,750万円の増額補正をお願いするものでございます。

内容につきましては、現在借地しております下館駅東駐車場及び下館駅東自転車等駐車場について、令和６年度をもって返還するため、原状回復に係る工事費用となってございます。

以上でございます。ご審議よろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　質疑を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

次に、議案第93号「土地の取得について」、審査を願います。

道の駅拡張整備推進課から説明を願います。

大久保道の駅拡張整備推進課長、お願いします。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君）　道の駅拡張整備推進課、大久保です。よろしくお願いいたします。着座にてご説明をさせていただきます。

議案第93号「土地の取得について」でございます。

道の駅拡張整備事業に係る駐車場及び遊具施設用地として、下記の土地を取得することについて、筑西市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第３条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

記といたしまして、１、場所は、筑西市川澄1779番１ほか９筆。詳細は、次のページにございます別表のとおりでございます。

２、総面積は２万9,573.26平方メートル。

３、取得予定価格は１億8,783万8,779円。

令和６年９月４日提出でございます。

次のページをお開き願います。取得する土地の詳細でございます。買入れの相手方、場所、地目、面積、取得予定価格は、別表のとおり合計９人、10筆、合計面積２万9,573.26平方メートル。土地取得予定価格の総額は１億8,783万8,779円でございます。

なお、面積につきましては、測量成果によります実測面積でございます。また、取得予定価格につきましては、不動産鑑定士による各筆ごとの土地評価を行い、平米単価を算出いたしまして実測面積に乗じたものでございます。

次のページにございます参考資料を御覧ください。道の駅拡張整備事業地位置図でございます。土地収用法によります事業認定取得のため、茨城県用地課へ提出いたしました事業認定申請地を示したものでございます。

最後のページでございます。参考資料を御覧ください。用地を取得いたします箇所図でございます。黄色でお示しさせていただきました用地について、取得をお願いするものでございます。

本事業の早期完成に向け、ご賛同賜りました用地について事業を進めてまいります。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　２点質問させていただきたいと思います。

現時点、この工事をやることによって、担当課のほうでは線表管理されているかと思うのですが、１点目は、その工程表にのっとり計画どおり進んでいるのでしょうかという内容が１点と、あと、用地取得の箇所図のところで、２か所ですか、1852―１の田んぼと1785の雑種地ほかという２か所あるかと思うのですが、これ何かいびつに、凹凸、でこぼこになったところというのは、何か水柿議員の質問の中で、一応設計を見直しているというか、修正かけていますというようなご答弁のような感じだったかと思うのですが、その点について設計的に要するに持ち主の地主の方が思い描いているようなイメージで、結構盛土して高くなってという、境界部分というのはちゃんと設計はきちっとやって、要するにご不満がないような形でしますというような形のイメージでいてよろしいのでしょうか。

２点お伺いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　大久保道の駅拡張整備推進課長。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君）　お答え申し上げます。

まず、１点目の工事の進捗というところでございますが、こちらにつきましてはマススケジュール等を作成してございます。その中で、作成した予定どおり、今、順調に進んでいるというところでございます。事業認定の取得、また税務署との協議、こちらにつきましても予定よりも早く済んだというところで、用地の取得を図ってまいりまして、今定例会に用地取得の議案を提出させていただいたというところで、順調に進んでいるというところでございます。

２点目の箇所図でございます。この抜けている部分の２か所についてでございますが、こちらにつきましては西の端というところでございますので、本事業の整備に大きく影響するところではございませんので、この土地２筆を除いた中で事業は進めてまいりたいというふうに考えてございます。

また、段差につきましては、こちら右上になりますが、雑種地1785番地におきましても、高さ的には高く今土盛りをされているというところでございまして、また南の西のところ、こちらも現在は畑として利用されているというところで、土地のほうは高くなってございますので、そちらに合わせるような形で造成のほうは進めてまいりたいというところで、大きな段差等はないような形で設計のほう進めてまいりたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　分かりました。以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

塚田委員。

○委員（塚田砂与君）　用地取得の２か所、買収がうまくいかなかった理由を教えていただきたいのですが。

○委員長（三澤隆一君）　大久保道の駅拡張整備推進課長。

○道の駅拡張整備推進課長（大久保勝浩君）　この買収につきましては、地権者の方、それぞれ２名の方の土地の利用とか、そういったことがあるというところでございます。また、詳細については、個人の方の考え等もございますので、回答は控えさせていただければと考えてございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第93号の採決をいたします。

議案第93号「土地の取得について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決されました。

以上で都市整備部の審査を終了いたします。

それでは、執行部の入替えをお願いいたします。

〔都市整備部退室。上下水道部入室〕

○委員長（三澤隆一君）　次に、上下水道部の審査に入ります。よろしくお願いします。

議案第85号「筑西市団地排水建設事業基金条例の一部改正について」、審査を願います。

下水道課から説明を願います。

岡本下水道課長、お願いいたします。

○下水道課長（岡本崇生君）　下水道課の岡本です。どうぞよろしくお願いします。着座にてご説明いたします。

議案第85号「筑西市団地排水建設事業基金条例の一部改正について」、ご説明いたします。

筑西市団地排水建設事業基金条例は、当該基金を団地排水建設事業資金に充てるため平成24年度に設置したものでございます。現行の条例では、基金の充当は建設事業資金に限られており、これまで活用の実績はありませんでした。

改正の理由でございますが、今後、施設の老朽化に伴う修繕費の増加や人口減少に伴う使用料収入の減少などにより財源の不足が懸念されるため、建設事業資金のほか施設修繕費や管理運営費の充当も可能となるよう、第１条の設置規定を改正するものでございます。

次に、附則でございますが、この条例の施行日を公布の日からとするものでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

森委員。

○委員（森　正雄君）　この基金の残高はどのくらい今あるのですか。

○委員長（三澤隆一君）　岡本下水道課長。

○下水道課長（岡本崇生君）　答弁申し上げます。

残高につきましては３億9,986万6,343円です。

以上です。

○委員長（三澤隆一君）　森委員。

○委員（森　正雄君）　分かりました。

この団地排水については、３か所でしたか、鷹ノ巣と幸町と大田郷駅前、この３か所の集金をして、市が運営しているというような形なのでしょうけれども、当然、説明ありましたように人口は減っていくし、特に私も聞くのですが、幸町なんか、高齢化も進んでいるし、減っているというようなことも聞きます。そういう中で、この３団地で独立採算といいましょうか、その３団地で運営が持続可能にできるのかというところが心配なのですが、とりわけ懐の大きい公共下水道、こちらへの編入というのはできないの。その辺、伺います。

○委員長（三澤隆一君）　岡本下水道課長。

○下水道課長（岡本崇生君）　答弁申し上げます。

鷹ノ巣地区におきましては、令和７年度、公共下水道のほうに接続しまして供用開始の予定でございます。ほかの２つの地区につきましては、今のところございません。

以上です。

○委員長（三澤隆一君）　森委員。

○委員（森　正雄君）　分かりました。それでは、そういうふうな方向では進んでいるのですね、公共下水道のほうへ編入していくというようなことで。

最後なのですけれども、参考までに聞きたいのですが、公共下水道へこの団地排水が加入していく、編入していく上での、すんなりいけばいいのですけれども、問題点というのはあるのですか。何かありますか。

○委員長（三澤隆一君）　岡本下水道課長。

○下水道課長（岡本崇生君）　答弁申し上げます。

問題点といいますか、今まで一般会計でしたが、今度、公共下水道につながるということで、企業会計のほうには移行しますけれども、特に問題等は今のところないと考えております。

以上です。

○委員長（三澤隆一君）　森委員。

○委員（森　正雄君）　最後、そのように進めていただける、方向性としては進めていただいたほうが持続可能な排水事業の運営にいいのではないかというふうに思います。よろしくお願いします。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を終結いたします。

討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第85号の採決をいたします。

議案第85号「筑西市団地排水建設事業基金条例の一部改正について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決いたしました。

次に、議案第86号「令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号）」のうち、所管の補正予算について審査を願います。

引き続き、岡本下水道課長、お願いいたします。

○下水道課長（岡本崇生君）　よろしくお願いします。着座にてご説明いたします。

議案第86号のうち、下水道課所管の補正予算についてご説明いたします。

９ページを御覧願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、２、歳入でございます。款17財産収入、項１財産運用収入、目２節１利子及び配当金、説明欄29、団地排水建設事業基金利子に３万2,000円の増額補正をお願いするものでございます。

内容につきましては歳出にてご説明いたします。11ページを御覧願います。歳入歳出補正予算事項別明細書、３、歳出でございます。款２総務費、項１総務管理費、目５財産管理費、節24積立金、説明欄、団地排水建設事業基金積立事業に3,122万円の増額補正をお願いするものでございます。これは、令和５年度の団地排水処理施設に係る決算に伴う団地排水建設事業基金への積立額及びその利子でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　今の課長のほうから説明いただいた積立金の事業のほうなのですが、もし仮に補正通ったらすぐに、例えば案件というのですか、補修とかいろいろな事業をやりたいアクションアイテムというのは数件とか、あるいは数十件あるのか、ちょっと分からないですけれども、一応アイテムはもう既にありますよということでよろしいのでしょうか。

○委員長（三澤隆一君）　岡本下水道課長。

○下水道課長（岡本崇生君）　答弁申し上げます。

今のところ、早急にこの基金を取り崩して行う予定はございません。

以上です。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　では、その場合には一応基金に積み立てた上で、都度、案件が出てきたときに使用するという、そういうやり方をお考えになっているということでよろしいでしょうか。

○委員長（三澤隆一君）　岡本下水道課長。

○下水道課長（岡本崇生君）　答弁申し上げます。

先ほどご説明したとおり、残高につきましては３億9,986万6,343円ということで、今回の積立金を合算しますと４億3,108万8,212円となりますが、やはり老朽化のほうが進んでおりますので、これらの積立金を有効に活用できればとは考えております。

以上です。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　分かりました。以上です。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

以上で議案第86号について、全ての説明、質疑を終了いたしました。

議案第86号について、討論を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第86号の採決をいたします。

議案第86号「令和６年度筑西市一般会計補正予算（第３号)」のうち、所管の補正予算について、賛成者の挙手を願います。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決されました。

次に、議案第90号「令和５年度筑西市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」、審査を願います。

澤部水道課長、お願いいたします。

○水道課長（澤部明典君）　水道課、澤部です。よろしくお願いします。着座にて説明させていただきます。

議案第90号「令和５年度筑西市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」ご説明いたします。

令和５年度筑西市水道事業会計で生じた剰余金を別記のとおり処分したいので、地方公営企業法第32条第２項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

次ページを御覧願います。別記、令和５年度筑西市水道事業剰余金処分計算書でございます。表中、上段右欄が令和５年度末における未処分利益剰余金の残高７億6,378万9,545円でございます。これは、令和５年度の純利益２億2,983万3,637円と前年度繰越利益剰余金５億3,395万5,908円の合計額でございます。この未処分利益剰余金のうち１億9,245万1,884円につきましては、減価償却費に含まれる補助金等相当額を長期前受金戻入として収益化したものでございます。現金を伴わない帳簿上の収益でございますので、財産上の整合を図るため議会の議決をいただき、資本金に組入れさせていただくものでございます。

なお、表の下段右欄に記載の繰越利益剰余金となります未処分利益剰余金は５億7,133万7,661円となります。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　担当課のほう、水道のほうなのですが、資本剰余金もゼロという形で、自前で経営できていますねということなのでしょうけれども、この処分計算結果、あるいは令和５年度でいいのですが、この結果を計算された上で、水道のほう、どういう評価をされているのか、事業として。その辺、お伺いしたいと思います。

○委員長（三澤隆一君）　澤部水道課長。

○水道課長（澤部明典君）　ご答弁申し上げます。

未処分利益剰余金として処分できるというところは、黒字の決算をしていないとできないところでございます。今回、先ほどご説明しましたように純利益が２億2,983万円、約２億3,000万円でございまして、このうち減価償却費に含まれる補助金等相当額が１億9,200万円、約２億円近くというところで、ぎりぎりの状態であるところでございます。黒字経営ではございますが、２億円の収入が現金として収入されていないということですので、ぎりぎりの経営をしているところ。ただ、黒字はずっと継続していけているというところでございます。

以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　分かりました。以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

続いて、討論願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第90号の採決をいたします。

議案第90号「令和５年度筑西市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」、賛成者の挙手を願いま

す。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決されました。

次に、議案第91号「令和５年度筑西市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」の審査を願います。

下水道課、岡本下水道課長、お願いします。

○下水道課長（岡本崇生君）　よろしくお願いします。着座にて説明いたします。

議案第91号「令和５年度筑西市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」、ご説明いたします。

令和５年度筑西市下水道事業会計で生じた剰余金を別記のとおり処分したいので、地方公営企業法第32条第２項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

次ページを御覧願います。別記、令和５年度筑西市下水道事業剰余金処分計算書でございます。表中、右側上段に記載してございます令和５年度末における未処分利益剰余金の残高は２億9,465万691円でございます。これは令和５年度の純利益と前年度繰越利益剰余金の合計額でございます。

この未処分利益剰余金のうち、４段目の１億4,733万円については、今後の企業債の元金償還の財源とするため減債積立金へ積立てするものでございます。また、５段目の１億884万円については、令和５年度に積み立てました減債積立金を令和６年度に取り崩して使用するため、そのままですと現金の裏づけのない未処分利益剰余金が残ってしまうことから、現金との整合を図るために資本金に組入れするものでございます。

なお、表の下段に記載してございますが、繰越利益剰余金となります未処分利益剰余金の処分後の残高は１億4,732万691円となります。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　水道課でも質問させていただきましたけれども、今回、担当課がこの計算書を計算された結果をどう評価されているのか、お伺いしたいと思います。

○委員長（三澤隆一君）　岡本下水道課長。

○下水道課長（岡本崇生君）　答弁申し上げます。

改めまして、未処分利益剰余金の詳細ですが、表中の右側上段に記載してあります令和５年度末未処分利益剰余金の残高は２億9,465万691円となり、令和５年度の純利益と前年度繰越利益剰余金の合計額となっております。

続きまして、この未処分利益剰余金のうち、４段目の１億4,733万円につきましては、地方財政法第７条により、未処分利益剰余金のうち２分の１を下回らない金額を減債積立金に積立てを行っております。

続きまして、未処分利益剰余金のうち、６段目の１億884万円ですが、減債積立金に積み立て、取り崩した後、元金償還に充てるものでございます。

未処分利益剰余金の最下段、１億4,732万691円ですが、繰越利益剰余金となり、令和５年度末、未処分利益剰余金の残高から減債積立金に積み立てます金額を差し引いた残りの金額となっております。この残りの金額につきましては、次年度以降の下水道事業の資金繰りや災害復旧費等の不測の欠損金に対応する

ために留保資金として残し、不測の下水道事業に備えるものでございます。

現在の下水道事業につきましては、使用料収入だけでは運営することが難しいことから、単独では赤字となり、一般会計からの繰入れに依存している状況でございます。今後も利益が生じた場合につきましては、減債積立金に積立てを行い、元金償還金に充てることにより、一般会計からの補助金の削減を図っていき、今後の下水道事業の運営に努めてまいりたいと思います。また、少しでも赤字が減少していくように水洗化率の向上に努め、下水道使用料の増加につなげたいと思います。

以上です。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　分かりました。以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

続いて、討論を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第91号の採決をいたします。

議案第91号「令和５年度筑西市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決いたしました。

次に、議案第92号「令和５年度筑西市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分について」、審査を願います。

引き続き、岡本下水道課長、お願いいたします。

○下水道課長（岡本崇生君）　よろしくお願いします。着座にてご説明いたします。

議案第92号「令和５年度筑西市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分について」、ご説明いたします。

令和５年度筑西市農業集落排水事業会計で生じた剰余金を別記のとおり処分したいので、地方公営企業法第32条第２項の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

次ページを御覧願います。別記、令和５年度筑西市農業集落排水事業剰余金処分計算書でございます。表中、右側上段に記載してございます令和５年度末における未処分利益剰余金の残高は１億7,059万9,285円でございます。これは令和５年度の純利益と前年度繰越利益剰余金の合計額でございます。この未処分利益剰余金のうち、４段目の8,530万円については、今後の企業債の元金償還の財源とするために減債積立金へ積立てするものでございます。

また、５段目の4,791万3,000円は、令和５年度に積み立てました減債積立金を令和６年度に取り崩して使用するため、そのままですと現金の裏づけのない未処分利益剰余金が残ってしまうことから、現金との整合を図るために資本金に組入れするものでございます。

なお、表の下段に記載してございますが、繰越利益剰余金となります未処分利益剰余金の処分後の残高

は8,529万9,285円となります。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（三澤隆一君）　それでは、質疑を願います。

吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　すみません。下水道と同じ考え方かもしれませんけれども、これについてもどういう評価をされているのか、お伺いしたいと思います。

○委員長（三澤隆一君）　岡本下水道課長。

○下水道課長（岡本崇生君）　答弁申し上げます。

現在の農業集落排水事業につきましては、下水道事業と同様に使用料収入だけでは運営することが難しいことから、単独では赤字となり、一般会計からの繰入れに依存している状況でございます。

今後も利益が生じた場合につきましては、下水道事業と同様に減債積立金に積立てを行い、元金償還金に充てることにより、一般会計からの補助金の削減を図っていき、今後の農業集落排水事業の運営に努めていきたいと思います。また、少しでも赤字が減少していくよう下水道事業同様に水洗化率の向上に努め、農業集落排水使用料の増加につなげたいと思います。

以上です。

○委員長（三澤隆一君）　吉富委員。

○委員（吉富泰宣君）　分かりました。以上でございます。

○委員長（三澤隆一君）　ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　質疑を終結いたします。

続いて、討論を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（三澤隆一君）　討論を終結いたします。

これより議案第92号の採決をいたします。

議案第92号「令和５年度筑西市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分について」、賛成者の挙手を願います。

〔賛　成　者　挙　手〕

○委員長（三澤隆一君）　挙手全員。よって、本案は可決されました。

以上で上下水道部所管の審査を終了いたします。お疲れさまでした。

執行部は退室願います。ご苦労さまでした。ありがとうございました。

〔執　行　部　退　席〕

○委員長（三澤隆一君）　以上で経済土木委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

なお、最終日の本委員会の審査結果報告につきましては、委員長に一任いただきたいと存じます。

また、今定例会最終日に「閉会中の所管事務調査について」を提出いたします。

以上をもちまして、経済土木委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

閉　　会　午前１１時１９分